

圧力計

例:



モデル 732.14、許容最大圧力 最大 400 bar

モデル 432.56、許容最大圧力 最大 100 bar

モデル 213.40



Part of your business

現行の圧力機器指令ごとの注記

- 圧力計は「圧力付属品」と定義されています。
- WIKAI圧力計の「受圧部ハウジング」の容積は0.1 L以下です。
- 圧力計は、許容される使用圧力が> 200バールの場合に、付属書IIの図1の流体グループ1のCEマークを保持します。

マークを持たない機器は、第4条第3項「堅実なエンジニアリングの実践」に従って製造されます。

適用される規格 (モデルにより異なります)

- EN 837-1 ブルドンチューブ圧力計、寸法、計測、要件および試験
- EN 837-2 圧力計の選択および取り付けに関する推奨事項
- EN 837-3 ダイアグラムおよびカプセル圧力計、寸法、計測、要件および試験

仕様: www.wika.de でデータシートを確認してください  
技術的な変更の対象となります。

© WIKAI Alexander Wiegand SE & Co. KG 2009

WIKAI Alexander Wiegand SE & Co. KG

WIKAI Japan K. K.  
MG Shibaura Bldg. 6F  
1-8-4, Shibaura, Minato-ku  
Tokyo 105-0023  
Tel. +81 3 5439-6673  
Fax: +81 3 5439-6674  
info@wika.co.jp  
www.wika.co.jp

EN 11/2018:JP based on 2408976.06 12/2016 EN

1.安全性



警告!

設置、試運転、および操作の前に、測定範囲、設計および適切な接液部材料(腐食)の観点から特定の測定条件に対応可能な、適切な圧力計が選択されていることを確認してください。測定精度および指定された長期間の安定性を保証するために、定められた荷重制限を遵守しなければなりません。

工場管理者によって認可された有資格者のみが、圧力計の設置、保守、点検を許可されています。

酸素、アセチレン、可燃性または有毒ガスまたは液体などの有害媒体、また冷凍プラント、コンプレッサーなどについては、すべての標準規則に加えて、適切な既存の規定または規則に従わなければなりません。

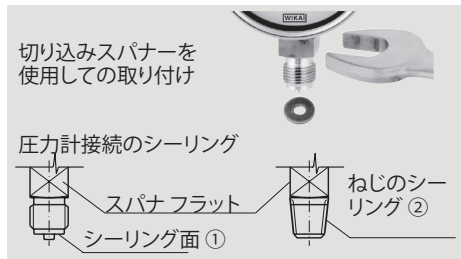
EN 837に準拠した安全バージョンに対応していない圧力計からは、コンポーネントが故障した場合にウインドウが破裂して、高圧の媒体が漏れる可能性があります。気体媒体および使用圧力が25 bar以下の場合、EN 837-2に準拠した安全バージョンS3の圧力計が推奨されます。

外部からの火災の後、圧力媒体が、特に軟口ウ付け部から漏れ出す可能性があります。プラントの再試運転をする前に、すべての機器をチェックし、必要に応じて交換する必要があります。

それぞれの規制を遵守しなければ、重大な傷害および/または機器の損傷を引き起こす可能性があります。

2.機械的な接続

圧力計の一般的な技術規制 (EN 837-2など) に従ってください。機器をねじで固定する時は、これを行うために必要な力をケースを通して加えるのではなく、この目的のために用意されたスパナ フラットと適切な工具を使用してください。平行ねじの場合は、シーリング面①にフラットガスケット、レンズタイプのシーリングリングまたはWIKAI プロファイルシーリングを使用してください。テーパねじ (例えば、NPTねじ) の場合、追加のシーリング材料、例えばPTFEテープを用いてねじのシーリング②を施します (EN 837-2)。トルクは、使用されるシーリングによって決定されま



す。可能な限り読み取りやすい方向に測定器を向けるために、クランプソケットまたはユニオンナットを使用して接続する必要があります。

ブローアウト機構付きの圧力計を取り付ける場合は、堆積物やごみ等によってブロックされないように保護する必要があります。安全バージョン圧力計 (Sマーク付) では、ブローアウトバックの後ろに20 mm以上のフリースペースがなければなりません。



取り付け後、ベントバルブを開くか (可能な場合に限る)、「CLOSE」から「OPEN」に設定します。モデル4と7では、フランジ取付ねじを緩めないでください。ベントバルブのバージョンはモデルによって異なり、上記の図と異なる可能性があります。

取り付け位置に関する要件

測定器に接続する配管が十分に安定していない場合は、固定するために測定器ホルダーを使用してください (場合によっては柔軟性のあるキャピラリーを使用することもできます)。適切な取り付けをしても振動を避けることができない場合は、液体を封入した機器を使用する必要があります。機器は、周囲の粗悪な環境や周囲温度の広範囲にわたる変動から保護する必要があります。

モデル732.14の前面ベゼル取り付けに関する注記: 前面ベゼルの、センタリングとして、また取り付けパネルの開口部に設置されます。この測定器を固定する際は、圧力接続配管を介して重量支持を行う必要があります。

3.許容周囲温度および動作温度

圧力計を取り付ける際には、対流や熱放射の影響を考慮して、許容温度の上限を超えたり下回ったりしないようにしなければなりません。指示精度に対する温度の影響をよく観察してください!

4.保管

圧力計を機械的損傷から守るために、取り付けするまでは元の梱包状態で保管してください。測定器を湿気やほこりから保護します。保管温度範囲: -40 ... + 70°C  
保管温度範囲モデルPG23LT: -70 ... + 70°C

5.保守および修理

圧力計はメンテナンスフリーです。測定精度を確保するために定期的なチェックを行う必要があります。チェックまたは再校正は、資格のある熟練者が適切な機器で行ってください。取り外すときは、ベントバルブ (可能な場合) を閉じます。



警告!取り外した圧力計に残っている媒体は、人、環境、および機器に危険をもたらす可能性があります。十分な予防措置を講じてください。